

eポートフォリオシステムを用いた相互理解を促す学級日誌の提案と実践

A Class Diary on an E-portfolio System for Promoting Teacher and Student Communication

伊藤 明裕^{*1},
Akihiro ITO^{*1},

平川 拓弥^{*1},
Takuya HIRAKAWA^{*1},
^{*1}東京学芸大学

森本 康彦^{*1}
Yasuhiko MORIMOTO^{*1}

^{*1}Tokyo Gakugei University

あらまし：本研究では、学級経営における相互理解を促す学級日誌を提案した。具体的には、eポートフォリオシステムの優位性に注目し、eポートフォリオシステムを用いた相互理解を促す電子的な学級日誌（以下、e学級日誌）とその活用方法を明らかにし、その方法に基づくシステムを用いたe学級日誌の実践とその評価を行った。その結果、e学級日誌を活用することで相互理解が促進されることが示唆された。

キーワード：e学級日誌、eポートフォリオシステム、eポートフォリオ、学級経営、相互理解

1. はじめに

近年、初等中等教育において学級経営の充実を図ることが求められており、学級経営においては、教師と児童生徒の信頼関係、児童生徒間の好ましい人間関係を育てることが重要とされている⁽¹⁾。つまり、教師と児童生徒、児童生徒間の相互理解が重要であると言える。しかし、現代の子どもたちはコミュニケーション能力の低下による、家庭や学校、学級での人間関係の築き方の不全が言われており⁽²⁾、児童生徒の人間関係の希薄化が問題になっている（問題点①）。また、学級経営において児童生徒間の人間関係形成を行い良好な関係を築かせる取り組みはあるものの、児童生徒間だけでなく、教師と児童生徒、保護者と児童生徒といった学級、学校単位でのコミュニティの形成は十分になされていない（問題点②）。

一方で、学級経営を充実させるための手段の一つとして、学級日誌の活用がある。学級日誌は、一般的に、日直などの当番がその日の出来事や活動内容を記録することで、毎日の記録が学級内での生活を振り返る際に利用され、さらに当番を交代することで、学級内での他者の考えを理解することになるとされており⁽³⁾、相互理解が促進されると考えられる。しかし、多くの学級日誌は紙ベースであるという性質上、日直などの一部の児童生徒が1日の出来事を記して、教師に提出してフィードバックをもらうのみであり、限られた児童生徒のみの閲覧、書き込みとなってしまうため（問題点③）、相互理解を促すための有効なツールとなっていないという現状がある。

そこで、本研究は、先の問題点を解決するために、学級経営における相互理解を促す学級日誌を提案することを目的とし、eポートフォリオシステムの優位性に注目する。eポートフォリオシステムは、情報通信ネットワークを通していつでもどこでも電子的に学習成果物や評価等の学びの記録を蓄積・閲覧できるシステムであり、学校内外の人々との密な相互作用を通し、学びのコミュニティの構築が期待できる⁽⁴⁾。よって、本研究では、学級日誌（以下、e学級日誌）をeポートフォリオシステム上で電子的に扱い、活用する方法について提案し、さらに、この提案に基づくシステムを用いた実践と評価を行う。

2. 解決のための要件

前章で示した問題点を解決するため、提案する学級日誌には以下の要件が挙げられる。

要件①：学級内外における相互作用

教師と児童生徒、児童生徒同士などが互いに働きかけ合うことで、何らかの影響を及ぼし合うことができる（問題点①に対応）。

要件②：コミュニティの形成

教師、児童生徒、保護者が一体となって、学級や学校という一つのコミュニティを形成することができる（問題点②に対応）。

要件③：自由な閲覧、投稿

児童生徒は、学級日誌にいつでもどこでも閲覧、投稿ができる（問題点③に対応）。

3. e学級日誌の提案

3.1 e学級日誌の活用方法

前章で挙げた要件をもとに、相互理解を促すe学級日誌の活用方法を提案する（図1）。

e学級日誌の活用においては、日直、児童生徒、担任教師、保護者、担任以外の教師（他教師）の5つの役割がある。日直は、e学級日誌上にその日の出来事（各授業の内容、まとめ等）を記録するページを作成する（図1-①）。日直、児童生徒、担任教師はそれぞれ、作成されたページにネットワークを通じてアクセスし、その日に学校で起きた出来事や感じたことなどをテキストや写真等でe学級日誌に

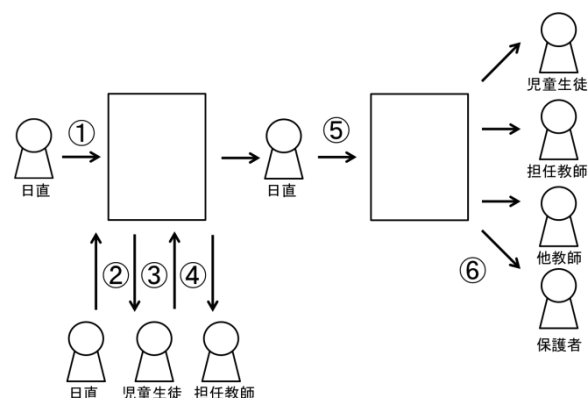


図1 e学級日誌の活用方法

随時投稿したり、他者の投稿した出来事に対して返信したりする(図1-②③④)。これらの閲覧、投稿は、日直以外であってもいつでもどこでも可能であり(要件③に対応)、学級内で共有されるため、自分の出来事だけでなく、他の人の出来事や、同じ出来事でも客観的な視点から物事を見ることができ、それに関わる意見を交換し合うことで、相互作用が得られる(要件①に対応)。日直は、1日の最後に、その日の活動や内容を担任以外の教師や保護者に公開するために、まとめのページを作成する(図1-⑤)。担任教師は、日直の作成したまとめページをチェックし、担任以外の教師や保護者への公開設定を行う(図1-⑥)。担任以外の教師、保護者がe学級日誌にアクセスすることで、学校や学級での様子や活動を知ることができ、学級全体さらには学校全体で一つのコミュニティを構築することができる(要件②に対応)。

3.2 e学級日誌の機能

e学級日誌の活用方法を実現する上で必要な機能として、既存の学級日誌の機能、電子化する上で必要な機能、要件を満たすために必要な機能の抽出から、e学級日誌の機能を決定した。また、e学級日誌は、eポートフォリオシステムを用いるため、決定した機能に対して、eポートフォリオシステムを効果的に活用するための活動である「eポートフォリオ活動⁶⁾」を対応付けた(表1)。この結果、e学級日誌は、学級日誌としての役割を保ちつつ、eポートフォリオシステム活用による効果を得ることができ、e学級日誌の活用方法に基づいて活動すること自体がeポートフォリオ活動になると言える。

4. 実践

4.1 対象

2015年11月～12月を期間とし、A大学の同じゼミに所属する大学生及び大学院生11名と指導教員1名の計12名を対象に実践を行った。

4.2 実践内容

本実践では、e学級日誌をオープンソースのeポートフォリオシステムMahara⁶⁾上に実装し、e学級日誌の活用方法に基づいて活動を行った。なお、今回は大学生及び大学院生が対象のため、役割として日直、児童生徒、担任教師の三つの役割を与え、日直は交代制として学級日誌を作成した。

5. 評価

5.1 評価方法

e学級日誌を活用することで相互理解を促進できるかどうかを明らかにするために、実践最終日に、相互作用に関する項目6項目、コミュニティの形成に関する項目7項目(4件法)の全13項目で構成した質問紙による調査を実施した。

5.2 結果と考察

質問紙の結果について、二項検定を行ったところ、相互作用に関して、「e学級日誌に書かれている内容に関して、e学級日誌外でコミュニケーションをとるようになった($p < .05$).」など5項目、コミュニティの形成に関して、「研究室として一体感が高まった($p < .01$).」など6項目で有意差が認められた。これらの項目はすべて肯定的であった。このことから、e学級日誌を活用することで、相互作用の生起と、コミュニティの形成ができる可能性が示唆され、学級経営における相互理解を促進することに効果があることが示唆された。

6. おわりに

本研究では、学級経営における相互理解を促すe学級日誌とその活用方法を提案し、提案に基づいたシステムを用いて実践と評価を行った。今後は、初等中等教育の現場における実践を行い、e学級日誌の活用による効果について検証していく予定である。

謝辞

本研究の一部は、科研費(26350311)の助成を受けたものである。

参考文献

- (1) 文部科学省:“小学校学習指導要領解説 総則編”(2008)
- (2) 汐見稔幸:“子どもの生活経験の現状-地域、社会の変容と子どもの発達に関する検討-”, 学校教育研究, 25, pp.8-22 (2010)
- (3) 中川一史, 堀田龍也, 大篠いづみ, 狩野ひろみ:“学級日誌をコンピュータ上に設計した教室用ソフトウェアの開発と評価”, 日本教育工学会論文誌, 29(Suppl.), pp.153-156 (2005)
- (4) 森本康彦:“eポートフォリオの理論と実際”, 教育システム情報学会誌, 25(2), pp.245-263 (2008)
- (5) 森本康彦:“高等教育におけるeポートフォリオの最前線”, システム制御情報学会誌, No10, pp23-29 (2011)
- (6) Mahara <<https://mahara.org/>>

表1 e学級日誌の機能とeポートフォリオ活動との対応

機能名	機能の内容	eポートフォリオ活動	対象者
1日の基本情報設定機能	その日の天気や気温、欠席者・遅刻者・早退者等の情報を記録する	—	日直
1日の生活目標設定機能	その日の生活目標を記録する	ゴール設定	日直
1日の予定表示機能	その日の時間割や行事の予定等を表示する	ループリック確認	日直, 児童生徒
1日の学習内容記録機能	各授業や行事等に対して学んだこと等を記録する	自己評価	日直, 児童生徒
1日の出来事記録機能	その日に起こった出来事について自由に記録する	自己評価	日直, 児童生徒
1日の良い点・反省点記録機能	その日にあった良い点, 反省点を記録する	自己評価	日直, 児童生徒
教師フィードバック機能	教師からのフィードバックを記入する	教員評価	担任教師
相互コメント機能	他者の学習内容, 出来事, 良い点と反省点に対してコメントする	相互評価	日直, 児童生徒
1日のまとめ作成機能	学級外に公開するためのページを作成する	セレクション	日直
日誌閲覧機能	公開範囲に指定された人に対して日誌を公開する	公開	日直, 児童生徒, 担任教師, 他教師, 保護者